

草津市のまちづくりについての市民意識調査 結果報告書

平成 22 年 3 月
草津市

目 次

1. 調査概要	1
2. 調査結果	2
(1) 回答者属性	2
① 性別	
② 年齢	
③ 居住年数	
④ 転入歴	
⑤ 居住地	
(2) 基本方針に別にみる満足度評価	4
① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針・行財政マネジメント	
(3) 基本方針に別にみる重要度評価	9
① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針・行財政マネジメント	
(4) 基本方針に別にみる満足度と重要度	13
① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針	
⑤ 行財政マネジメントのための基本方針	
(5) まちの住み心地や日常の生活行動	16
① 住環境評価	
② 定住意向	
③ 日常の行動	

1. 調査概要

【調査目的】

平成 22 年度からスタートする第 5 次草津市総合計画の確実な進行管理を行っていくため、計画当初段階での市民の意向を把握するために実施した。

【調査対象者】

市民 3,000 人

【選定方法】

住民基本台帳及び外国人登録原票の 18 歳以上の者から、年齢、居住地域の 2 段階による層化無作為抽出とした。

【抽出条件】

抽出基準日：平成 22 年 2 月 1 日

【調査方法】

調査は無記名とし、平成 22 年 2 月 12 日（金）から 2 月 26 日（金）を調査期間として、郵送により実施した。

【回収状況】

有効回答数 949 件、有効回答率 31.6%を得た。

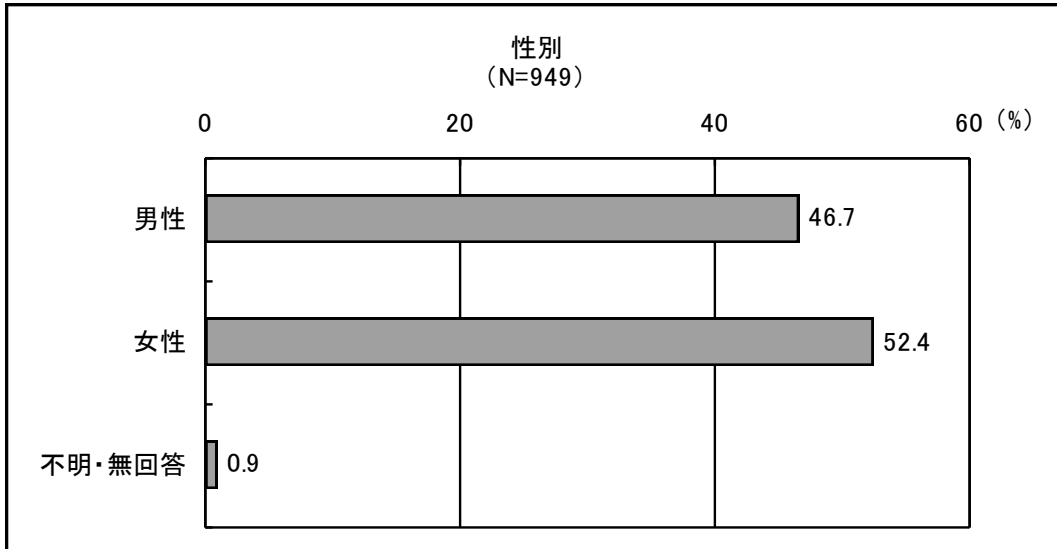
調査結果の表記について：百分率については、それぞれの調査の有効回答数 (N)、あるいは当該設問の回答者数 (n) を基数として算出している。小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、それぞれの数字の合計が必ずしも 100.0%にならない。

2. 調査結果

(1) 回答者属性

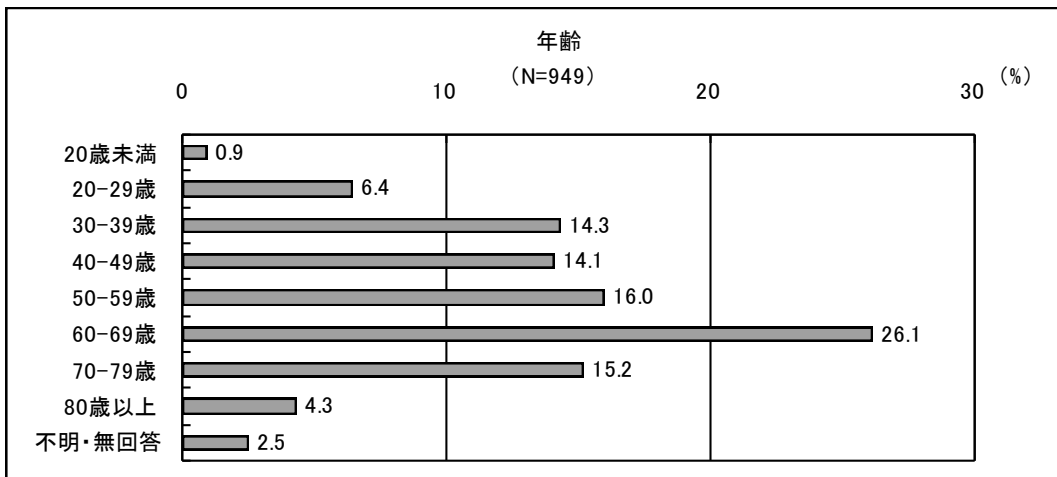
① 性別

「男性」が46.7%、「女性」が52.4%となっている。



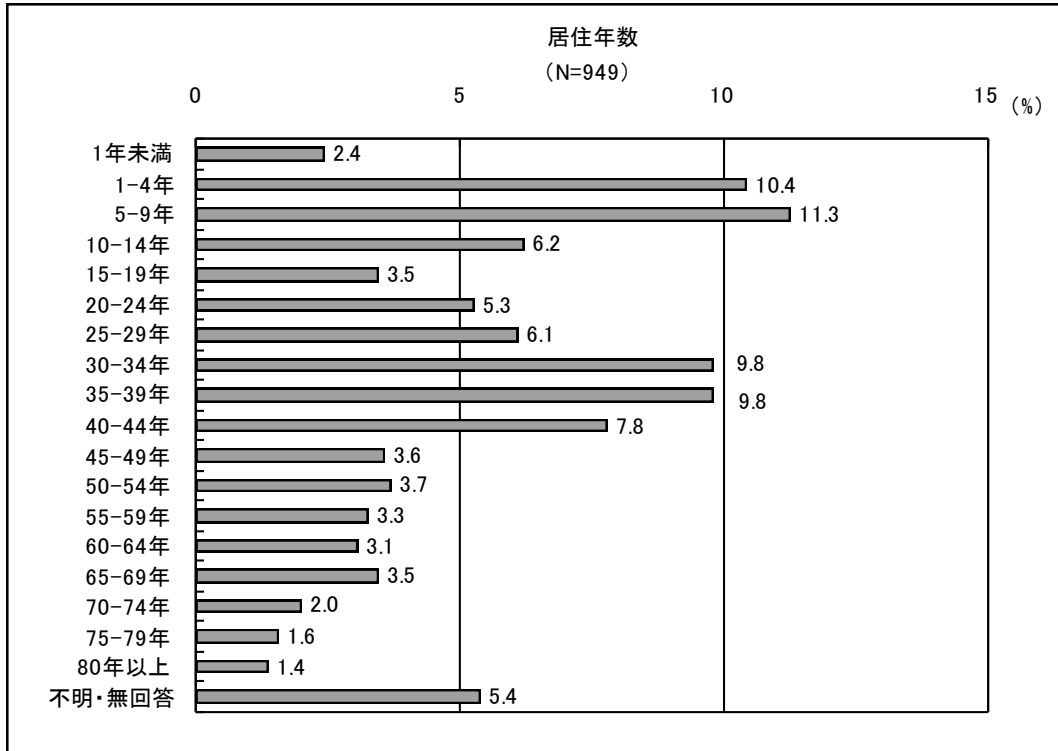
② 年齢

「60-69歳」が最も多く26.1%、次いで「50-59歳」が16.0%、「70-79歳」が15.2%などとなっている。



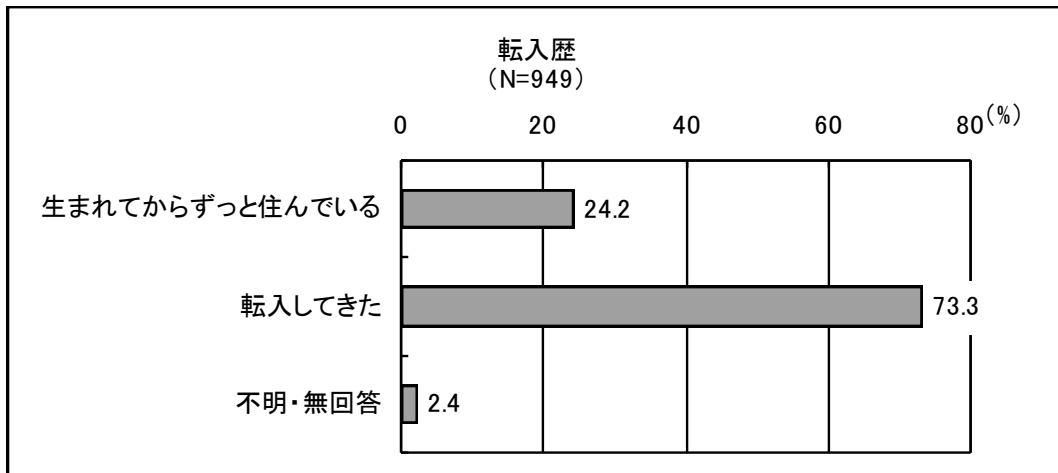
③ 居住年数

「5-9年」が最も多く11.3%、次いで「1-4年」が10.4%、「30-34年」「35-39年」が9.8%などとなっている。



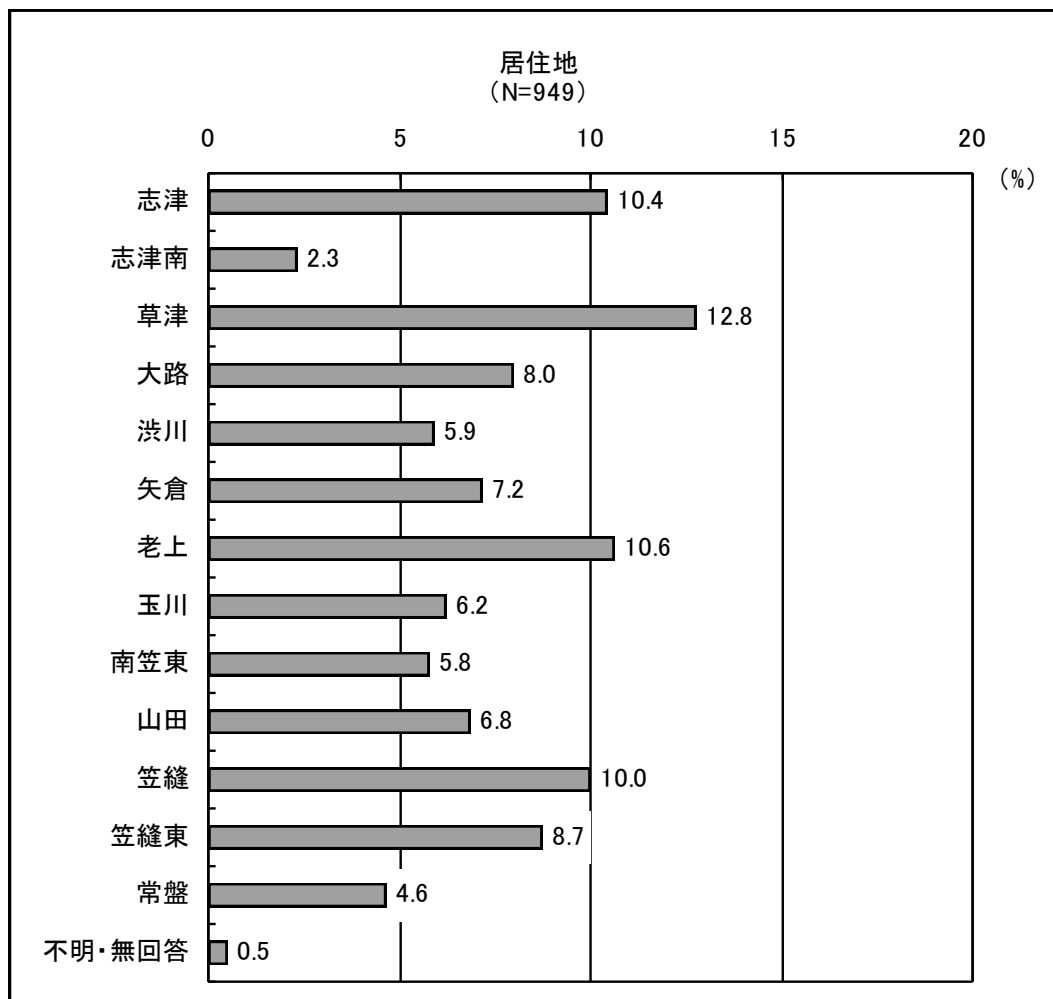
④ 転入歴

「生まれてからずっと住んでいる」が24.2%、「転入してきた」が73.3%などとなっている。



⑤ 居住地

「草津」が最も多く 12.8%、次いで「老上」が 10.6%、「志津」が 10.4%、「笠縫」が 10.0% などとなっている。



(2) 基本方針に別にみる満足度評価

① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針

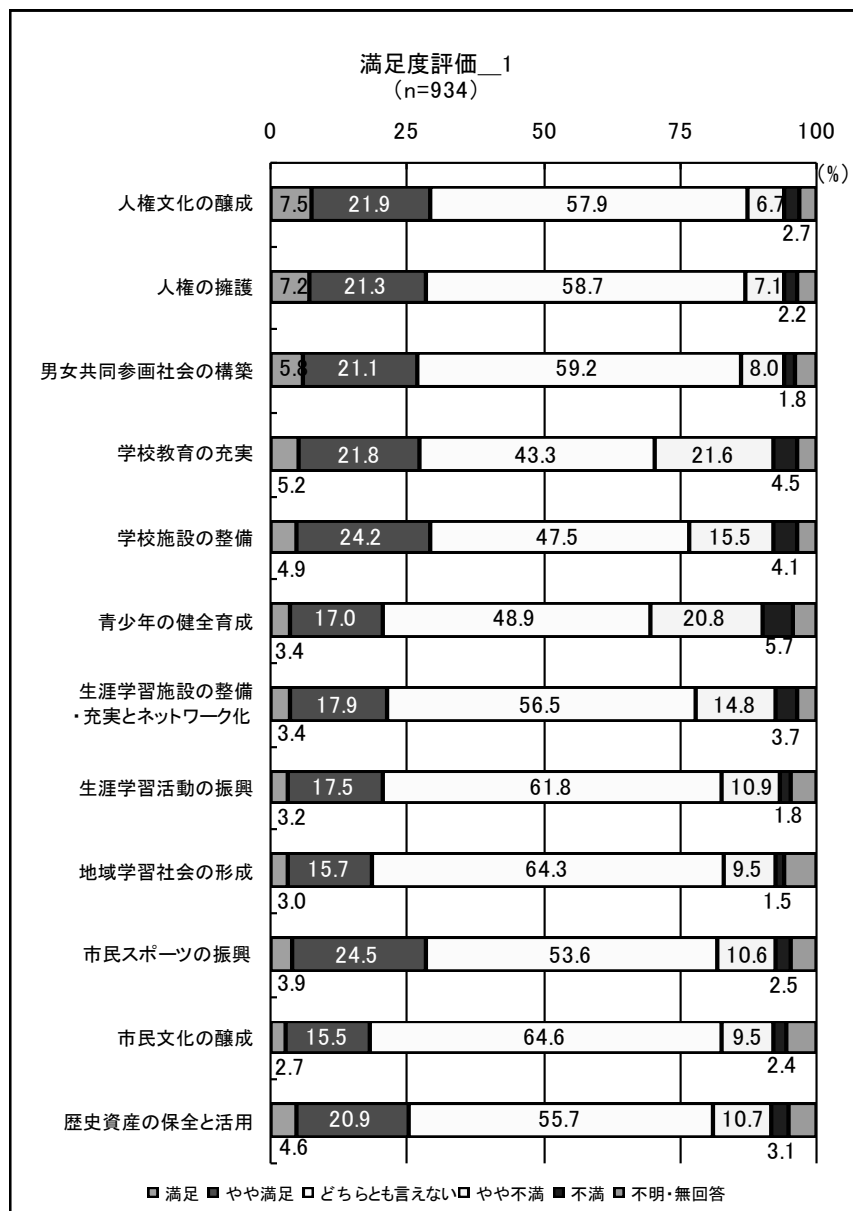
「満足」が最も多いのは、「人権文化の醸成」で7.5%、次いで「人権の擁護」が7.2%などとなっている。

「やや満足」が最も多いのは、「市民スポーツの振興」で24.5%、次いで「学校施設の整備」が24.2%などとなっている。

「どちらとも言えない」が最も多いのは、「市民文化の醸成」で64.6%、次いで「地域学習社会の形成」が64.3%などとなっている。

「やや不満」が最も多いのは、「学校教育の充実」で21.6%、次いで「青少年の健全育成」が20.8%などとなっている。

「不満」が最も多いのは、「青少年の健全育成」で5.7%、次いで「学校教育の充実」が4.5%などとなっている。



② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

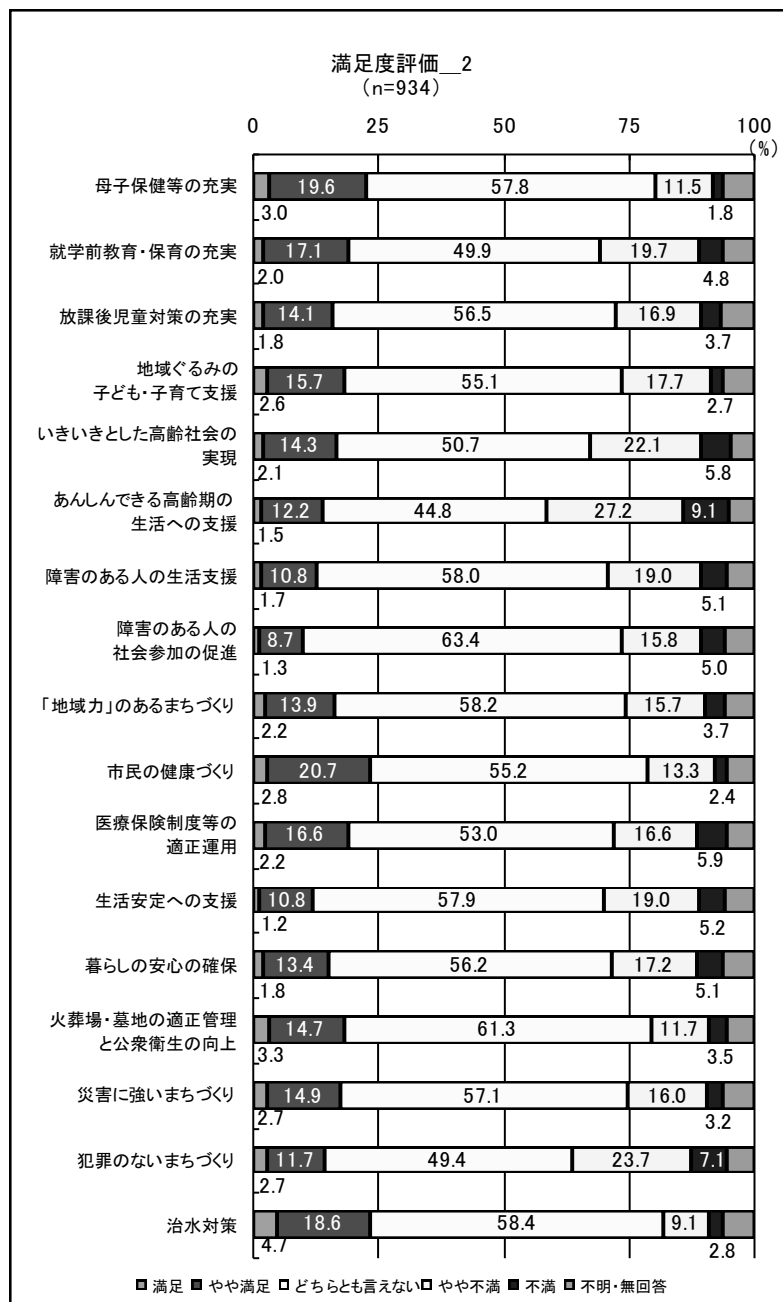
「満足」が最も多いのは、「治水対策」で4.7%、次いで「火葬場・墓地の適正管理と公衆衛生の向上」が3.3%などとなっている。

「やや満足」が最も多いのは、「市民の健康づくり」で20.7%、次いで「母子保健等の充実」が19.6%などとなっている。

「どちらとも言えない」が最も多いのは、「障害のある人の社会参加の促進」で63.4%、次いで「火葬場・墓地の適正管理と公衆衛生の向上」が61.3%などとなっている。

「やや不満」が最も多いのは、「あんしんできる高齢期の生活への支援」で27.2%、次いで「犯罪のないまちづくり」が23.7%などとなっている。

「不満」が最も多いのは、「あんしんできる高齢期の生活への支援」で9.1%、次いで「犯罪のないまちづくり」が7.1%などとなっている。



③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

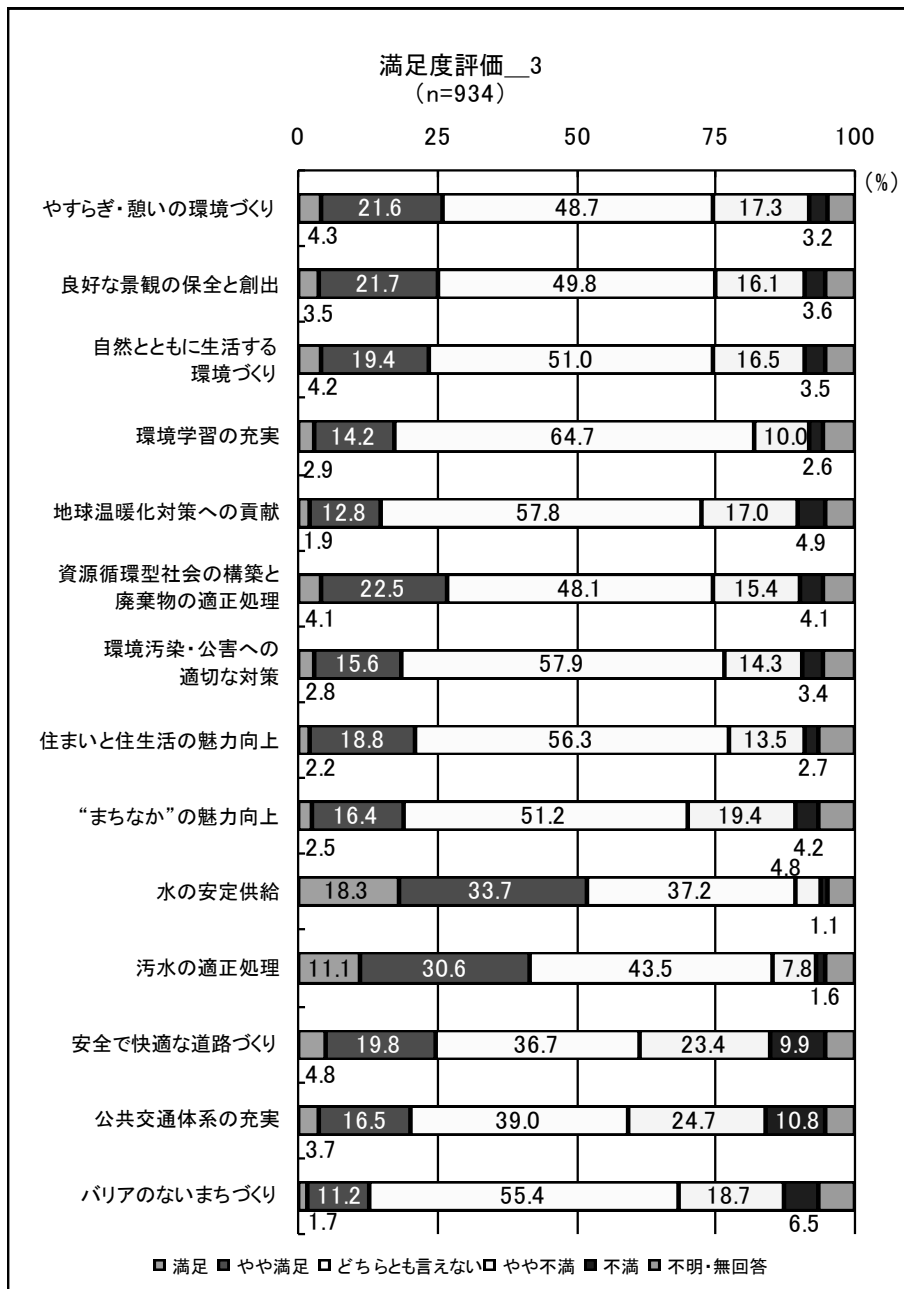
「満足」が最も多いのは、「水の安定供給」で18.3%、次いで「汚水の適正処理」が11.1%などとなっている。

「やや満足」が最も多いのは、「水の安定供給」で33.7%、次いで「汚水の適正処理」が30.6%などとなっている。

「どちらとも言えない」が最も多いのは、「環境学習の充実」で64.7%、次いで「環境汚染・公害への適切な対策」が57.9%などとなっている。

「やや不満」が最も多いのは、「公共交通体系の充実」で24.7%、次いで「安全で快適な道路づくり」が23.4%などとなっている。

「不満」が最も多いのは、「公共交通体系の充実」で10.8%、次いで「安全で快適な道路づくり」が9.9%などとなっている。



④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針・行財政マネジメント

「満足」が最も多いのは、「大学などを生かしたまちづくりの展開」で 4.4%、次いで「商業の振興」が 2.5%などとなっている。

「やや満足」が最も多いのは、「大学などを生かしたまちづくりの展開」で 19.5%、次いで「商業の振興」が 15.4%などとなっている。

「どちらとも言えない」が最も多いのは、「水産業等の振興」で 71.6%、次いで「工業の振興」が 70.0%などとなっている。

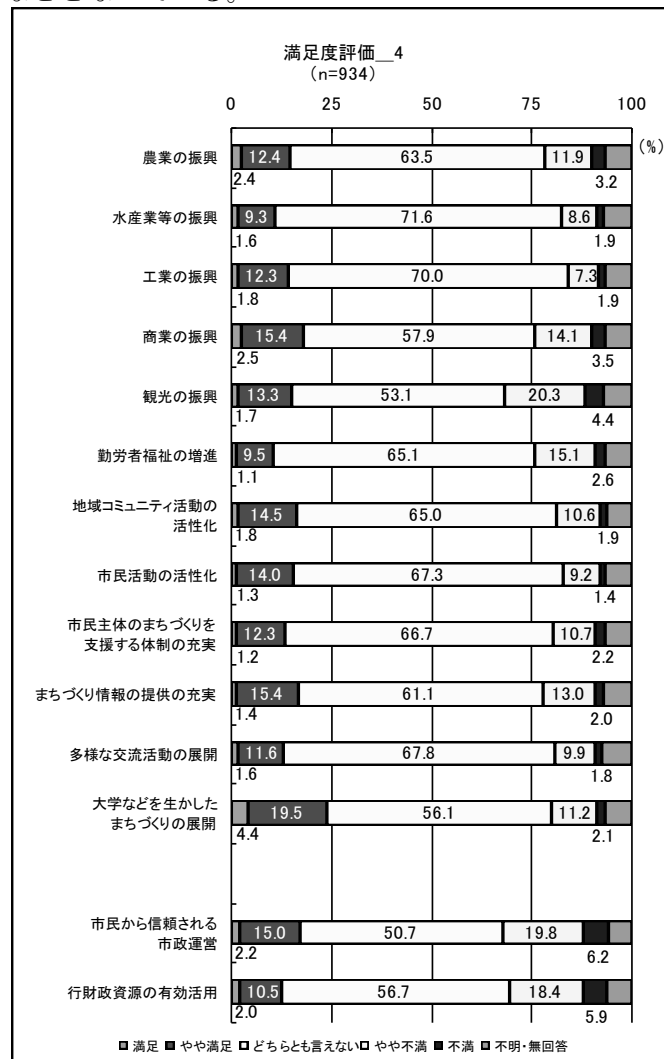
「やや不満」が最も多いのは、「観光の振興」で 20.3%、次いで「勤労者福祉の推進」が 15.1%などとなっている。

「不満」が最も多いのは、「観光の振興」で 4.4%、次いで「商業の振興」が 3.5%などとなっている。

【行財政マネジメント】

「市民から信頼される市政運営」において、「どちらとも言えない」が最も多く 50.7%、次いで「やや不満」が 19.8%などとなっている。

「行財政資源の有効活用」において、「どちらとも言えない」が最も多く 56.7%、次いで「やや不満」が 18.4%などとなっている。



(3) 基本方針別にみる重要度評価

① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針

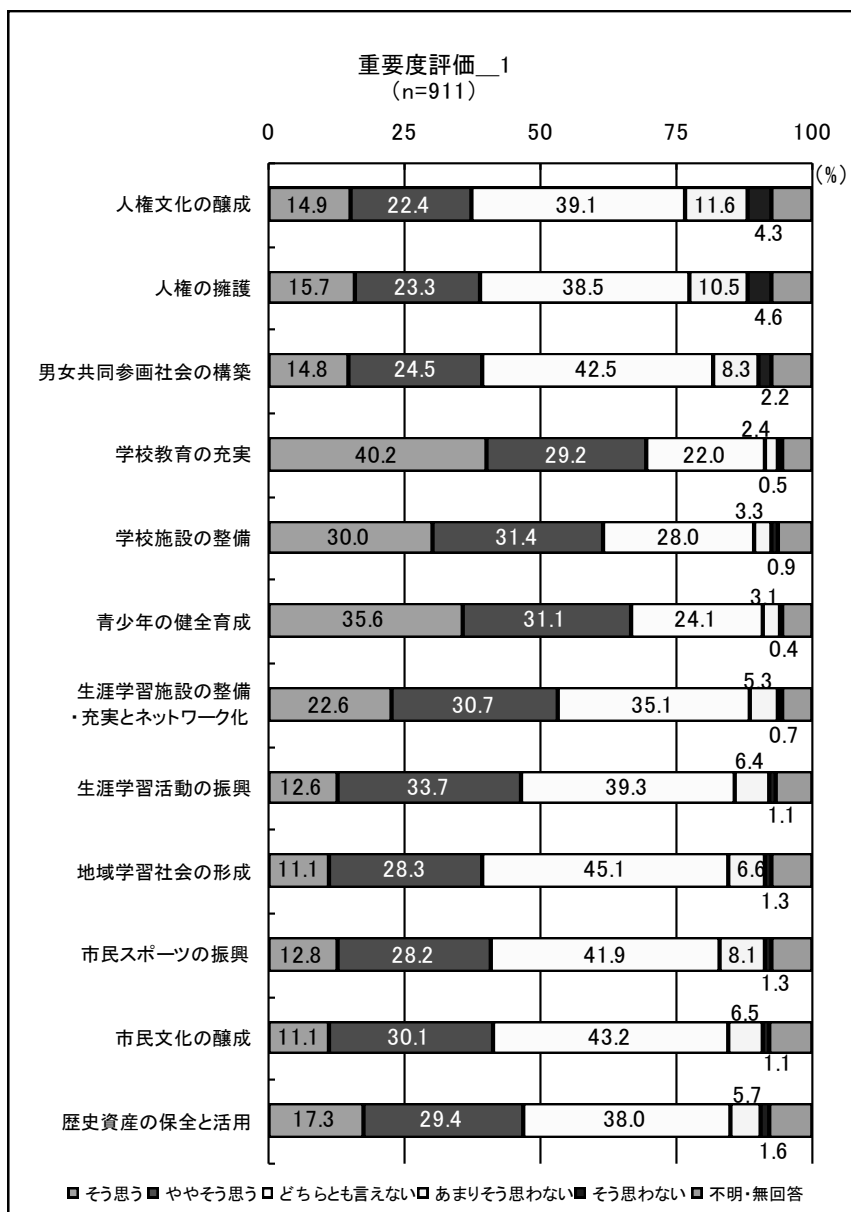
「そう思う」が最も多いのは、「学校教育の充実」で40.2%、次いで「青少年の健全育成」が35.6%などとなっている。

「ややそう思う」が最も多いのは、「生涯学習活動の振興」で33.7%、次いで「学校施設の整備」が31.4%などとなっている。

「どちらとも言えない」が最も多いのは、「地域学習社会の形成」で45.1%、次いで「市民文化の醸成」が43.2%などとなっている。

「あまりそう思わない」が最も多いのは、「人権文化の醸成」で11.6%、次いで「人権の擁護」が10.5%などとなっている。

「そう思わない」が最も多いのは、「人権の擁護」で4.6%、次いで「人権文化の醸成」が4.3%などとなっている。



② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

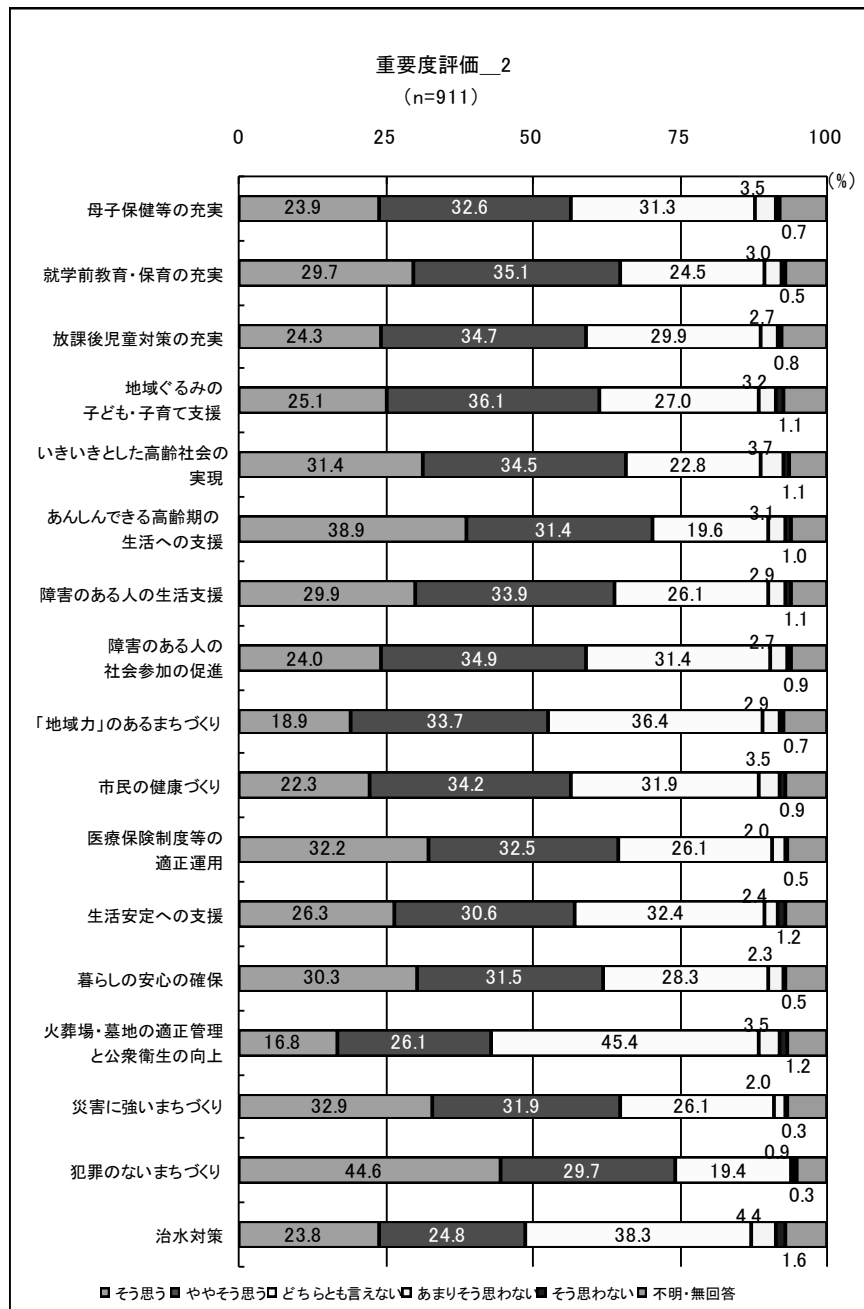
「そう思う」が最も多いのは、「犯罪のないまちづくり」で44.6%、次いで「災害に強いまちづくり」が32.9%などとなっている。

「ややそう思う」が最も多いのは、「地域ぐるみの子ども・子育て支援」で36.1%、次いで「障害のある人の社会参加の促進」が34.9%などとなっている。

「どちらとも言えない」が最も多いのは、「火葬場・墓地の適正管理と公衆衛生の向上」で45.4%、次いで「治水対策」が38.3%などとなっている。

「あまりそう思わない」が最も多いのは、「治水対策」で4.4%、次いで「いきいきとした高齢社会の実現」が3.7%などとなっている。

「そう思わない」が最も多いのは、「火葬場・墓地の適正管理と公衆衛生の向上」「生活安定への支援」で1.2%などとなっている。



③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

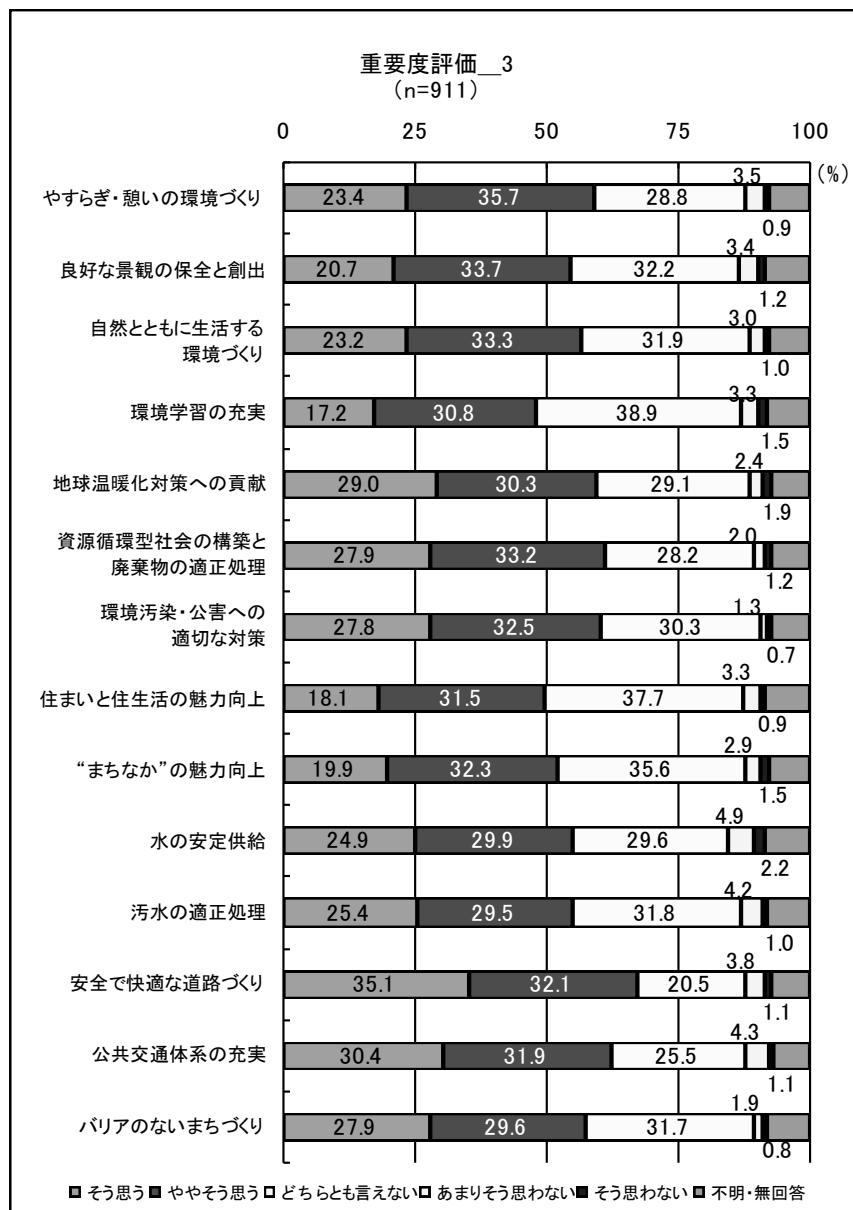
「そう思う」が最も多いのは、「安全で快適な道路づくり」で 35.1%、次いで「公共交通体系の充実」が 30.4%などとなっている。

「ややそう思う」が最も多いのは、「やすらぎ・憩いの環境づくり」で 35.7%、次いで「良好な景観の保全と創出」が 33.7%などとなっている。

「どちらとも言えない」が最も多いのは、「環境学習の充実」で 38.9%、次いで「住まいと住生活の魅力向上」が 37.7%などとなっている。

「あまりそう思わない」が最も多いのは、「水の安定供給」で 4.9%、次いで「公共交通体系の充実」が 4.3%などとなっている。

「そう思わない」が最も多いのは、「水の安定供給」で 2.2%、次いで「地球温暖化対策への貢献」が 1.9%などとなっている。



④ 活気があふれるまちをつくるための基本方針・行財政マネジメント

「そう思う」が最も多いのは、「観光の振興」で20.3%、次いで「商業の振興」で19.2%などとなっている。

「ややそう思う」が最も多いのは、「観光の振興」で34.5%、次いで「商業の振興」が31.8%などとなっている。

「どちらとも言えない」が最も多いのは、「水産業等の振興」で48.2%、次いで「市民活動の活性化」「多様な交流活動の展開」が46.8%などとなっている。

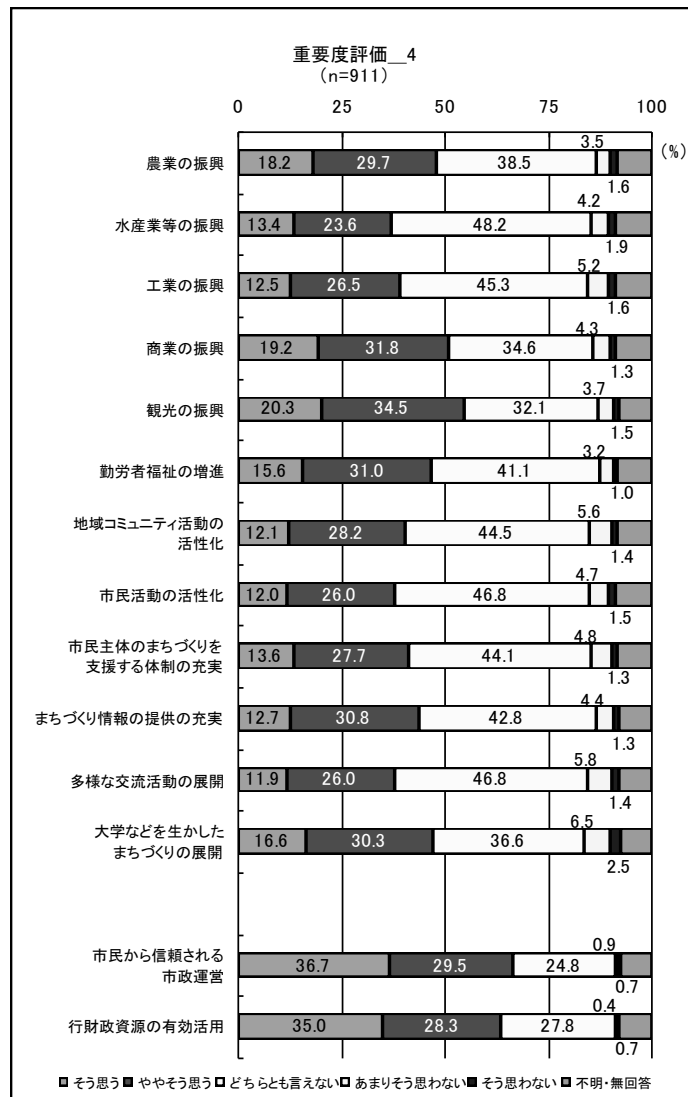
「あまりそう思わない」が最も多いのは、「大学などを生かしたまちづくりの展開」で6.5%、次いで「多様な交流活動の展開」が5.8%などとなっている。

「そう思わない」が最も多いのは、「大学などを生かしたまちづくりの展開」で2.5%、次いで「水産業等の振興」が1.9%などとなっている。

【行財政マネジメント】

「市民から信頼される市政運営」において、「そう思う」が最も多く36.7%、次いで「ややそう思う」が29.5%などとなっている。

「行財政資源の有効活用」において、「そう思う」が最も多く35.0%、次いで「ややそう思う」が28.3%などとなっている。

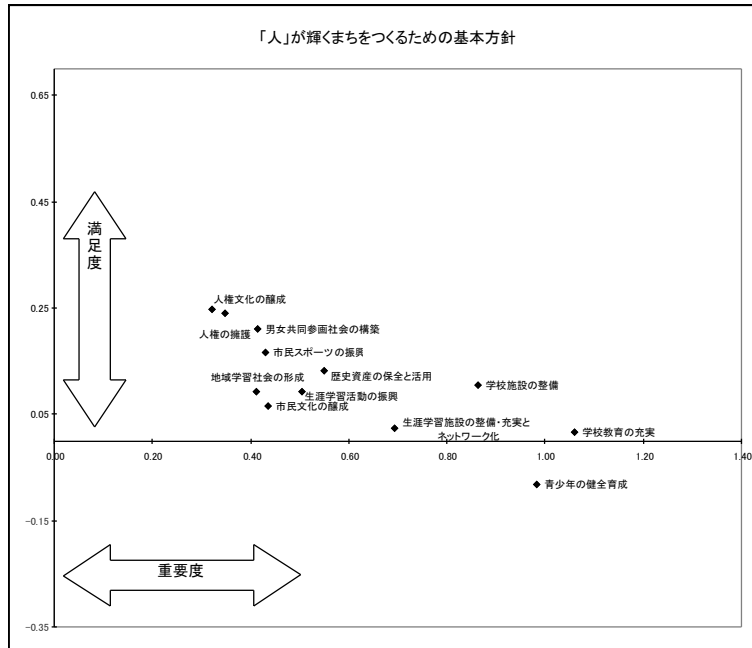


(4) 基本方針別にみる満足度と重要度

① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針

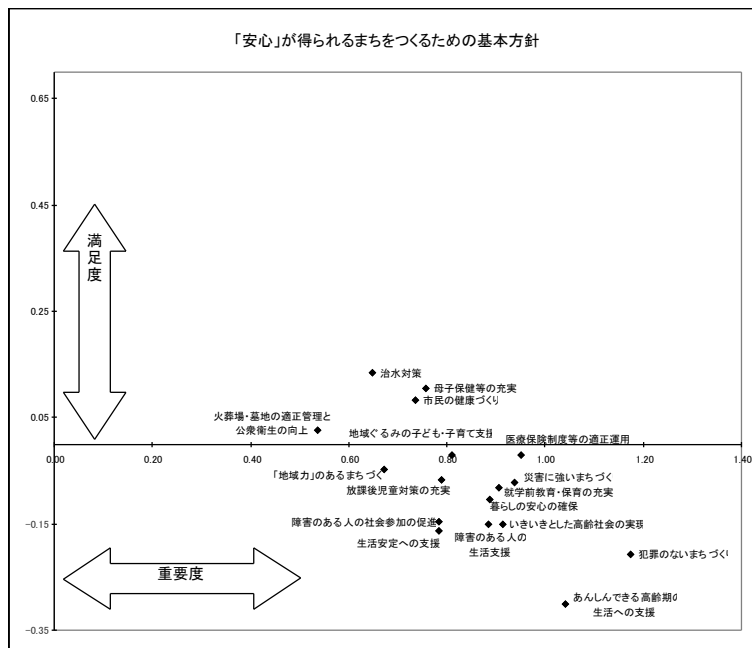
「学校教育の充実」「青少年の健全育成」において「重要度が高く、満足度が低く」なっている。

「人権文化の醸成」「人権の擁護」において「重要度が低く、満足度が高く」なっている。



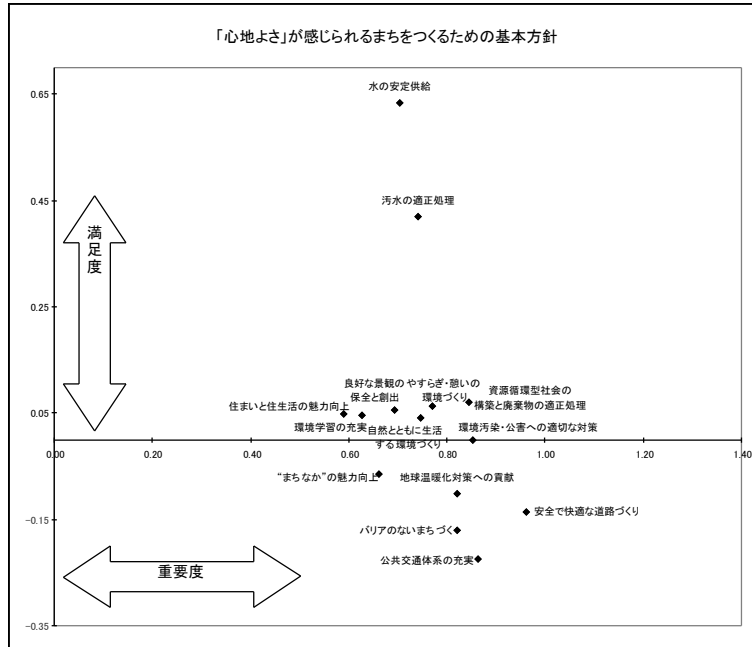
② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「犯罪のないまちづくり」「安心できる高齢期の生活への支援」において「重要度が高く、満足度が低く」なっている。



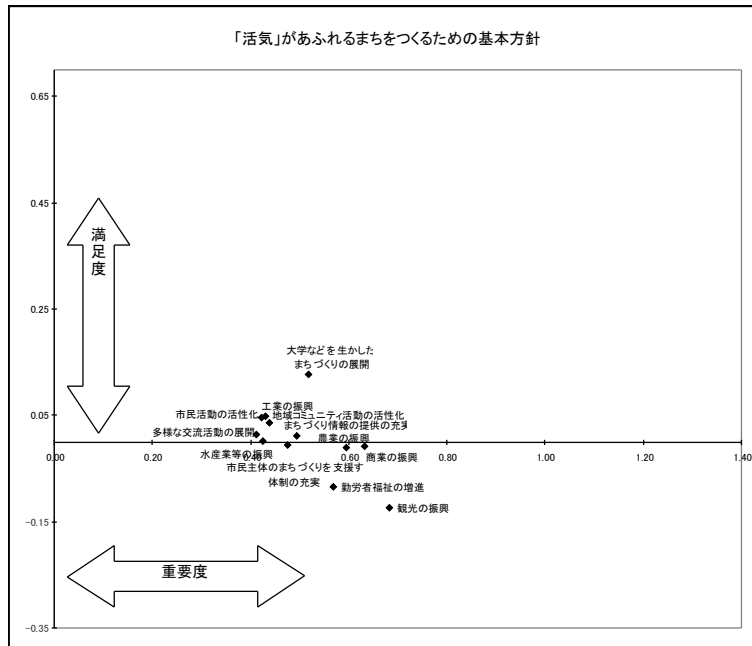
③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「水の安定供給」「汚水の適正処理」において「重要度が高く、満足度が高く」なっている。
また、「安全で快適な道路づくり」「公共交通体系の充実」「バリアのないまちづくり」においては「重要度が高く、満足度が低く」なっている。



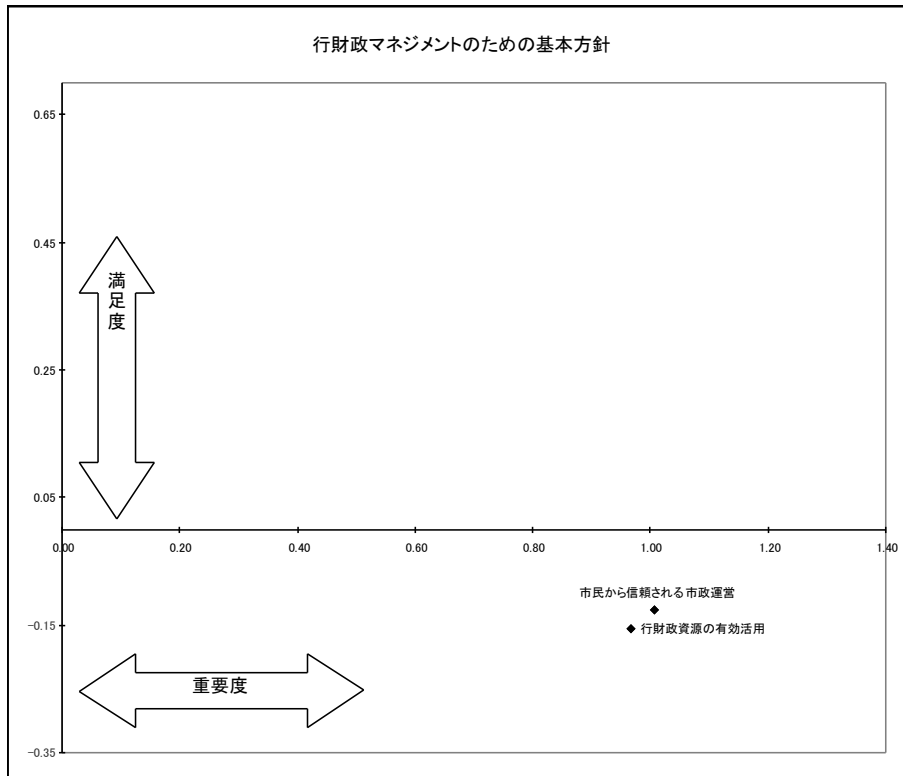
④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

各項目において、重要度、満足度の目立った傾向はでていない。



⑤ 行財政マネジメントのための基本方針

「市民から信頼される市政運営」「行財政資源の有効活用」において「重要度が高く、満足度が低く」なっている。



(5) まちの住み心地や日常の生活行動

① 住環境評価

「そう思う」が最も多いのは、「買物をする環境が整っている」で20.5%、次いで「自然環境が豊かである」が16.0%、「住宅地などの住まいの環境がよい」が13.3%などとなっている。

「ややそう思う」が最も多いのは、「買物をする環境が整っている」が45.6%、次いで「自然環境が豊かである」が43.3%、次いで「住宅地などの住まいの環境がよい」が38.8%などとなっている。

「どちらとも言えない」が最も多いのは、「男女共同参画が進んでいる」で62.6%、次いで「人権が尊重されるまちである」が56.6%、「市政運営に信頼がおける」が54.9%などとなっている。

「あまりそう思わない」が最も多いのは、「災害に強く、犯罪の不安がない」で31.1%、次いで「“まちなか”に魅力がある」が30.7%、「雇用が安定し働きやすい」が29.5%などとなっている。

「そう思わない」が最も多いのは、「公共交通機関の便がよい」で16.5%、次いで「まちに誇れるもの（ブランド）がある」が12.3%、「道路や公園が整っている」が10.8%などとなっている。

「総合的にすみやすいまちである」についてみると、「ややそう思う」が最も多く47.5%、次いで「どちらとも言えない」が30.9%、「そう思う」が12.3%などとなっている。

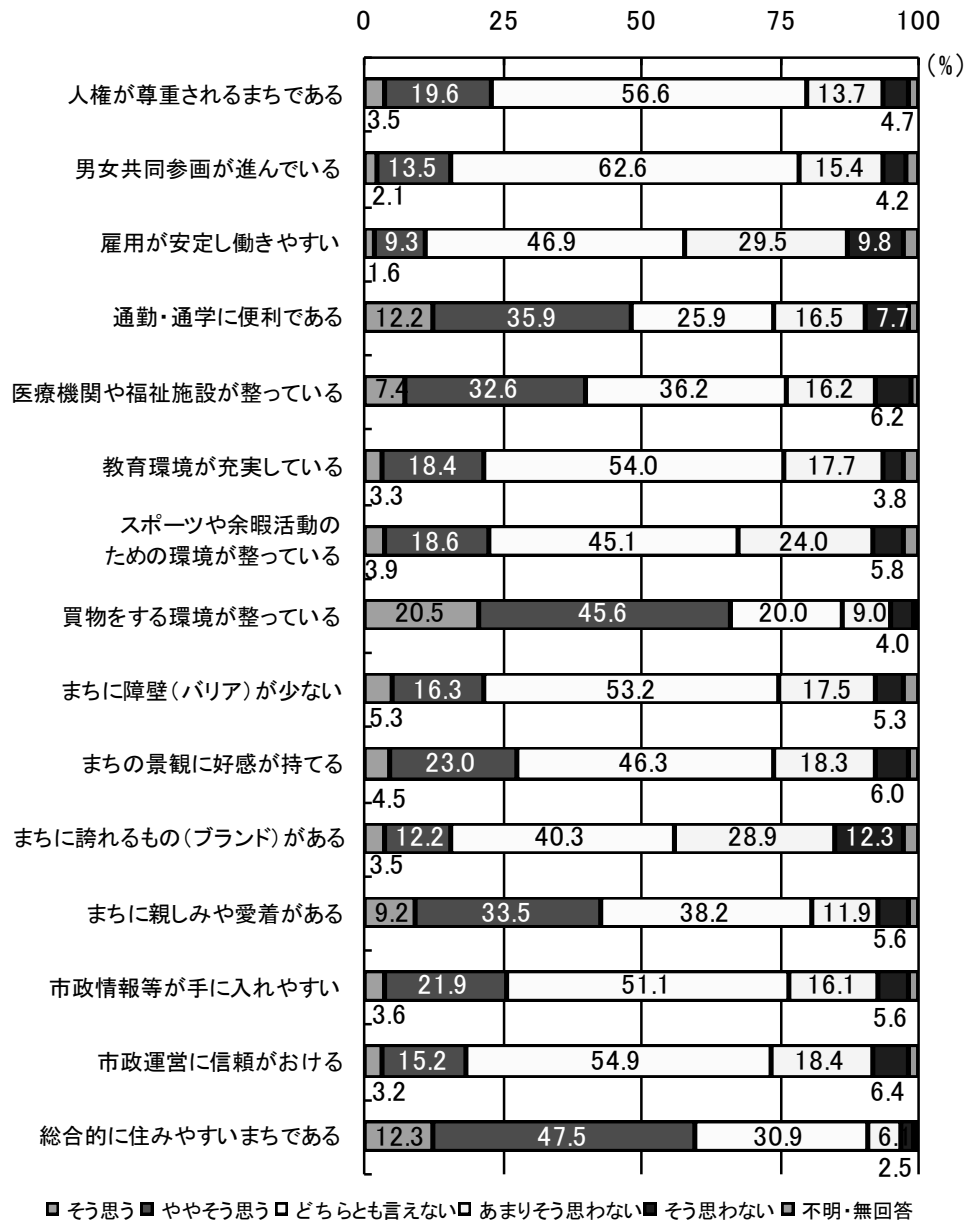
住環境評価_1
(n=933)

0 25 50 75 100



■ そう思う ■ ややそう思う □ どちらとも言えない □ あまりそう思わない ■ そう思わない □ 不明・無回答

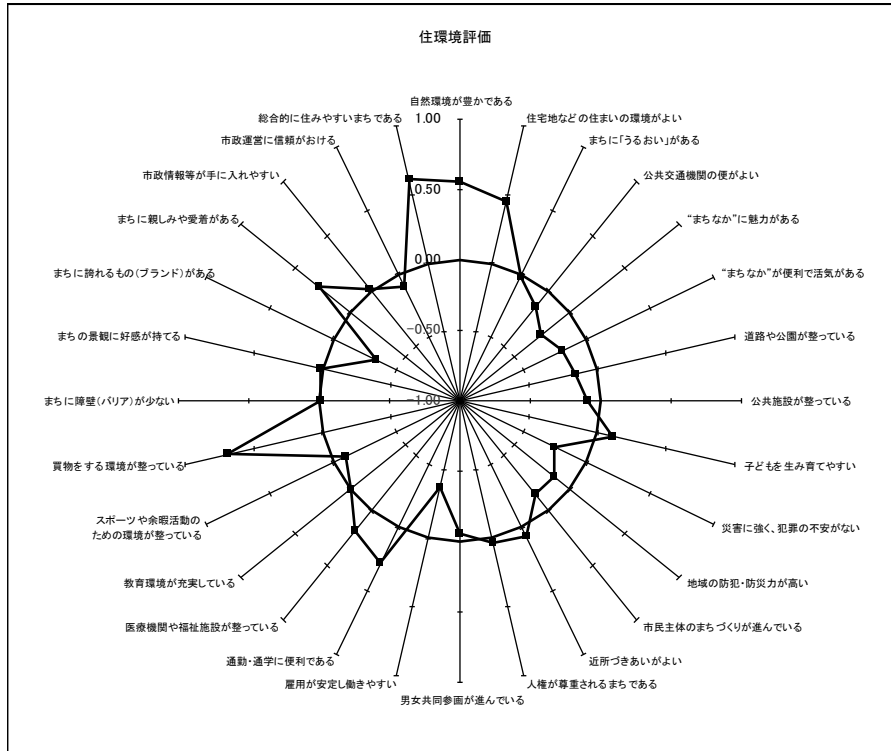
住環境評価_2
(n=933)



【加重平均】

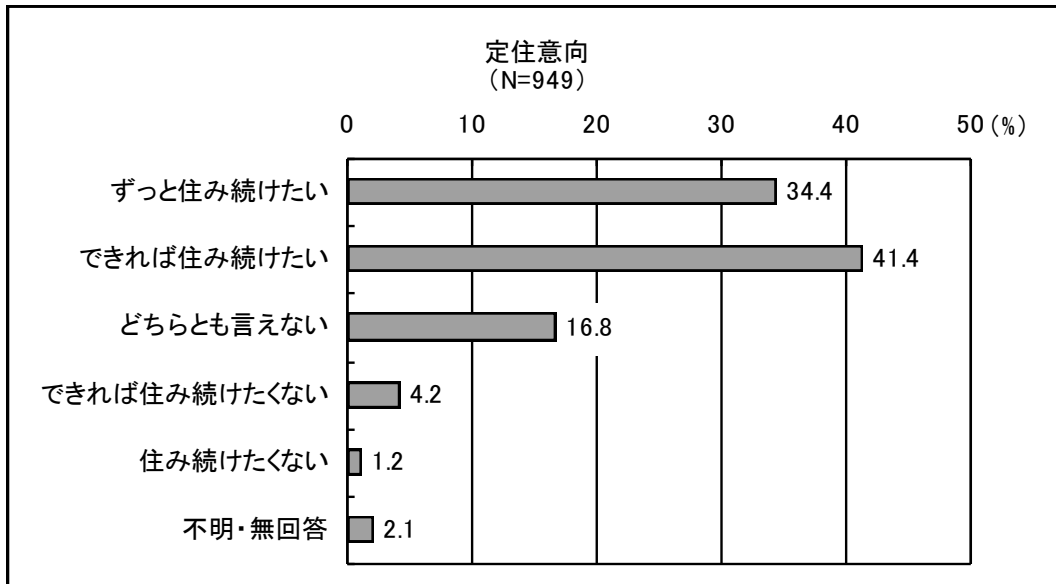
「買物をする環境が整っている」「総合的に住みやすいまちである」「自然環境が豊かである」「住宅地などの住まいの環境がよい」において評価が高くなっている。

「まちに誇れるもの（ブランド）がある」「雇用が安定し働きやすい」において評価が低くなっている。



② 定住意向

「できれば住みたい」が最も多く41.4%、次いで「ずっと住みたい」が34.4%、「どちらとも言えない」が16.8%などとなっている。



③ 日常の行動

「地元の農産物を購入するよう心掛けている」では、「ややそう思う」が最も多く 34.7%、次いで「そう思う」が 29.0%などとなっている。

「地元の水産物を購入するよう心掛けている」では、「どちらとも言えない」が最も多く 38.9%、次いで「あまりそうは思わない」が 18.5%などとなっている。

「地球温暖化対策に取り組んでいる」では、「ややそう思う」が最も多く 38.8%、次いで「どちらとも言えない」が 33.8%などとなっている。

「庭やベランダなどの緑化に努めている」では、「ややそう思う」が最も多く 35.3%、次いで「そう思う」が 26.1%などとなっている。

「町内会の活動に参加している」では、「ややそう思う」が最も多く 29.9%、次いで「そう思う」が 25.6%などとなっている。

『男は仕事、女は家庭』という考え方に賛成である」では、「そう思わない」が最も多く 29.6%、次いで「どちらとも言えない」が 27.7%などとなっている。

